

埼玉親善大使レポート

Junio de 2016

長山優子

一度ならず二度、三度

メキシコシティでまず最初に感じることは、段差が非常に多いということです。また、その段差も日本のような数センチの物とは違い、数十センチのものが数多くあります。関東平野にある埼玉は……、それとも、日本の道路事情が素晴らしいのでしょうか。道が全くの平らだったのを思い出します。

だからでしょうか。穴に落ちるに留まらず、私はあちこちで良く転びました。ちょっとした段差に突っかかる。細い歩道を通して転び、車道側によろけ、一緒に歩いていた友人をひやっとさせた上、ズボンが破けるなど。付いたあだ名がゴジラだったり、ローリングストーンズだったり。友人らをひやひやさせた私が一番やってしまった怪我とその後の対処法を今回はご紹介します。

段差

私が通っていた CEPE では喫茶店やイベントを行う広場があり、皆の憩いの場になっています。奥の方に行けば芝生もあり、そこで寝転んでいる学生をよく目にします。私も寝転んでいた一人です。

CEPE の喫茶店はイベント広場とつながっており、通路より一段高くなっています。5月初め、私は友人と学校を出たところにあるジュースを買いに、通路からイベント広場を横切って反対側の通路に出ようと思いました。ふと横を見ると先生がこちらに向かってきていたので、挨拶をしました。

その瞬間、視界が暗転。気づいたら、口から生暖かい血がぼたぼたぼた。舌を歯に当てると、何となく歯が欠けているのが分かり、「またやってしまった。」と思いつつ、とめどなく流れる血を見ながら、「どうやって服を汚さずに立ち上がるか。」そればかりを考えていました。



転んだ現場

後日、前を歩いていた友人は「バン！って音が聞こえた」と言っていました。また

車道に転んだ時と同じ友人にトラウマを植え付けてしまったようです。その後、近くを通りがかった日本人の友人に付き添いを頼み、私は先生に呼んでいただいた

救急車で病院に送られました。

UNAM の医療センター

UNAM にはもちろん医学部や歯学部がありますが、この医療センターはそれらの学部棟から独立しています。おそらく別組織かと思われます。UNAM の生徒は学部からもらう診察券を使って格安で医療サービスを受けることができます。私はここの歯医者さんでお世話になりました。唇の内側を4針、歯は脱臼して抜けかかって、歯の神経は死に、もちろん歯は一部が欠けるという大惨事でした。私の担当をしてくれた歯医者さんは日系人で、腕が良く、適切な治療をしてくれる方と感じます。ですが、それでも10年間は定期的に歯の状態を見なければならぬほど、ひどかったようです。ただ、さすがメキシコ。予約時間に行ってもそれより1、2時間は遅れることが多く、時間が押して、先生の勤務時間が終わりにになると、予約の取り直しです。また、治療中、話せないのにも関わらず、日本のことを質問攻め。同僚とのおしゃべり。こんな自由な環境、ある意味新鮮で素敵だなと感じました。

しかしながら、国立学校の医療センターなので、料金は激安。救急車で運ばれた初日、足と歯のレントゲン5枚、歯の脱臼治療、唇の縫合、整形外科の診察及び感染症予防のワクチン代含め、290ペソ。約2000円弱でした。ちなみに薬は院外処方ですが、薬局ならだいたいどこでも買えるようです。

診察は先生と研修生が行い、先生は担当制となっています。先生の都合に患者が合わせるようになっているところが、日本と違うと感じました。

この医療センターはUNAMの本科生向けのサービスでありCEPEの生徒は受けられるかは定かではありません。スペイン病院のような日本語スタッフももちろんいませんが、もし、歯の異常が出た際、UNAMに通っているならば、足を運んでみる価値はあると思います。

ですが、人間健康なのが一番です。怪我には十分気を付けましょう。